



## 本格的な夏に

まだ梅雨明け宣言を聞かないなか、7月に入りました。暑さと湿気が入り交じり、体調管理が難しい感じがします。先日の朝は、風も吹かず8時の時点で、暑さ指数が31℃を超え、始業前にブランコで遊んでいる児童に、校舎へ入るよう勧めることもありました。その後、風が吹き始め、暑さ指数も下がり学校生活に支障はありませんでしたが、園児・児童の体調を考えて、園活動、学校生活が送れるよう留意していきます。1学期もあと残すところ2週間ほどです。充実して終われるようにしたいです。

この暑さの中、水泳は、子どもたちにとってうれしい活動になっています。園児は、小プールで遊びを通して水を怖がらないようになってきているようです。小学生は、学年が上がるにつれ、泳法の習得へと目当てを持ちながら取り組んでいます。水の中での遊びの要素も入れながら活動しています。プールからは、笑顔いっぱい、歓声も上がり、子どもたちのエネルギーに満ち溢れています。先日2日は、地区懇談会と併せて救急法講習会を行いました。夜とはいえ、暑さを感じる体育館の中で、プール当番のグループ単位で行いました。熱心に取り組んでいただき、ありがとうございました。もうすぐ夏休みです。地区水泳で大変お世話になります。



## ふるさととの海



6月25日、香住海洋クラブの方のご指導の下、カヌー体験を3年生、4年生が行いました。毎年3年生の環境体験事業として実施しているふるさと学習ですが、昨年度、コロナの関係で実施できなかった4年生も一緒に体験をさせていただきました。人数が多くなりましたが、快くお受けいただき、現4年生も体験できる機会を与えていただいたことに感謝いたします。私は、残念ながらその日は出張で、行く途中に浦上の浜で集合している様子を横目で見ながら通り過ぎてしまいました。両担任から、子どもたちがとても喜んでいて、すぐに上達してふるさととの海を満喫したことを聞きました。この体験を通して、ふるさととの海のすばらしさを体いっばいに感じたことと思います。柴山の宝は、海。子どもたちの成長に欠かせないものです。ふるさとを大事にする子どもに育てていきたいです。

# 今一度、気を引き締めて

先月、千葉県で下校中の小学生が命を落とす悲しい事故がありました。運転手に対する憤りを感じながらも、尊い命は、もう帰ってこない現実には心が痛みます。その事故の翌日、「しばやま見守り隊」全体会があり、あいさつの中にその事故についてふれさせていただきました。お越しいただいた見守り隊の方々も、私と同じ思いであり、うなずかれていました。この会は、昨年度はコロナウィルス感染予防として実施しませんでした。毎年1度、「しばやま見守り隊」に登録して活動されている方々にお集まりいただき、園児・児童の登下校を中心に、事件防止、事故防止の観点から地域での子どもたちの様子等について、お気づきのことを教えていただいています。



そして、隊員の研修として柴山駐在所の前川巡査部長さんに講話を頂いています。前川巡査部長さんのお話の中で

- ①小中高校生が事件・事故に巻き込まれる時間帯として **15:00~19:00**が多い。下校途中や帰宅後の塾通い等にあたる。
- ②その時間帯に「ながら見守り」として、散歩（ジョギング）しながら、玄関前の掃除をしながらなど、大人が子どもの姿を見た時、声をかけることが未然防止になる。  
また、警察庁からの幼児・児童の交通事故の死者・重傷者の傾向として
- ①幼児・児童の死者・重傷者は、いずれも **歩行中が約6割**と最多。児童では **約3割が自転車乗車中**。
- ②歩行中幼児の死者・重傷者につき、時間帯では **16~17時台**。自宅からの距離別では **50m以下**が最多。歩行中児童も時間帯は同じ。 **約6割が法令違反で、飛び出しが約4割で最多**。

まさにこのようなお話と同じことが、見守り隊の方々からも出ました。

- ①横断歩道で一旦停止をせずに（走って）わたっている。
- ②道へ飛び出してきて、ひやっとする。

翌日の集会で、子どもたちに、見守り隊の方々からお聞きしたことを注意するよう話しました。もし、事故や事件で命を落とすことがあれば、いくら後悔しても後悔の思いが尽きることはありません。今一度、気を引き締めるよう、子どもたちには話しましたが、ご家庭で、地域でも、子どもたちへ、危ないと思われたら、ためらわず、声をかけてください。よろしくお願いします。

家庭や地域の方々の多くの目が、柴山っ子の安全を守っていただいています。

この「見守り隊」の活動にご賛同いただき、隊の一員になっていただける方が、一人でも多く増えると、とてもありがたいです。学校の方へ、ご連絡ください。

柴山小学校 37-0351

(文責 中田 斉)